



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1403 / 2017. 04. 07

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

東京赤坂ロータリークラブ週報  
Weekly Report

2016～2017 年度クラブテーマ  
会長 岩上 義明

「未来に向かって 皆で一步前へ進もう！」

●本日の例会/ 2017 年 4 月 7 日 第 1434 回

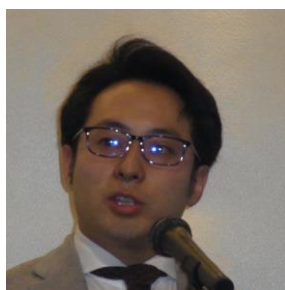
卓話：イニシエーションスピーチ 戸泉 邦康 氏

●前回報告/ 2017 年 3 月 31 日 第 1433 回例会

卓話：「中小企業オーナーのための公的資金活用術」

株式会社グラントシー

代表取締役 松本 将太郎 氏



紹介者：藤井宏章会員

会長報告：

地区のほうで新会員研修会があります。お忙しいとは思いますが是非ご参加ください。

幹事報告：

先日グローバルロータリークラブの観桜会があり、岩上会長、熊本グループ幹事の 3 人で行ってまいりました。まだ 3 分咲くらいでしたがそれなりに良かったと思います。



3 月 31 日 11 件 22,000 円

累計 1,076,500 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明/松本様、本日の卓話宜しくお願い致します。石井さん、高須さん、先週末はお世話になりました。河邊幸夫/27 日ステージに来ていただいた皆様、ありがとうございました。土屋東一/小林さんニコニコ代理ご苦労様です。入沢頼二/松本さん卓話よろしくお祈いします。宇佐美さんニコニコお疲れさまです。西澤民夫/松本先生、本日は楽しみにしています。桜も咲いてきましたね!!熊本誠司/2 週連続して例会を休みました。石井謙次/岩上会長、高須さん、河邊さん、先日は大変お世話になりました。石井達/松本さまの卓話はタイムリーなので楽しみにしております。張宇/松本先生の卓話楽しみにしています。宇佐美さんニコニコお疲れ様です。藤井宏章/松本さん本日は忙しいところありがとうございます。今度銀座に連れて行ってください。木下京子/4 月から秀城、保育園でしばらく例会はお休みです。経営者に産休なし。子連れ例会参加させて頂き本当にありがとうございます。

## Rotary.org がモダンなデザインで 新しくなりました

ロータリーのウェブサイト (Rotary.org) のホームページと一般向けページがモダンなデザインで一新されました。写真や動画、インフォグラフィック、ストーリーをふんだんに使った新サイトは、「ロータリーって何？」という疑問にわかりやすく答える内容となっています。

一般向けページと会員向け「My ROTARY」の 2 部で構成されるロータリーのウェブサイトは、これまでも世界中のロータリー会員の活動について、会員だけでなく、入会候補者やプログラム参加希望者、寄付者などに伝えるものでした。新しくなったホームページと一般向けページは、ロータリーを幅広い層にさらに効果的にアピールする内容となっています。コンテンツも整理されて情報が探しやすくなり、スピードが早くなるなど目に見えない改善も加えられています。

今回のアップグレードが可能になった理由のひとつに、2016 年規定審議会で採択された会費増額があります。この決定により、国際ロータリーがクラブと地区に従来よりも充実したサポートができるようになりました。なお、今回の Rotary.org に加え、ロータリークラブ・セントラルや「地区とクラブの運営」ページを含む My ROTARY も更新される予定となっています。詳しくは今後数カ月の間に随時お知らせしていきます。

新しくなった [www.rotary.org](http://www.rotary.org) をぜひご覧ください。

(<https://www.rotary.org> より)

出席報告： 会員 56 名 / 出席 34 名 欠席 22 名

ゲスト： 松本将太郎(卓話)、亀岡健一、福田栄二  
計 3 名 (順不同・敬称略)

● 次回予告 / 2017 年 4 月 14 日 第 1435 回例会

第 5 回クラブ協議会

テーマ：「定款・細則について」

※ 4 月 19 日(水)は東京麻布 RC との合同例会です。

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京 B1「グローリー」

時間：12:30 ～ 13:30

4 月 21 日(金)は休会となります。

## 「健康食品のことについて」

中国は日本の健康食品に関心度が高い。

よくあれはどうですか、これどうですかと人に聞かれます。その場合私は、ネットで情報を調べたり、時には直接メーカーに質問を投げて聞こうとしますし、特許が取られている場合には、特許を読んだりしてその価値を見極めます。

そこで、中国で宣伝されている日本の健康食品に、共通して言える問題点を発見しました。それは、日本以上に宣伝されていることです。

例えば、ある健康食品は、日本では、AとBの効果があると宣伝されていたが、中国になると、AとB以外に、CとDなどさらに拡大宣伝されていることはよく見かけます。

理由としていくつか考えられます。そのひとつは、国が広いだけに、出回る商品の種類も数も多い。そうなってくると、自分の商品がいかに効果が万能であるかを訴えないと、消費者の目に届きにくい。特に、同じお金で、よりよい商品を買えると、得感が生まれて、自己満足になり、気分がよくなります。

なにも商品に限った話ではないですが、観光地でも、ごく普通の滝でも、良く「白髪三千丈」を用いるように宣伝し、お客様に迫力あるように訴えるのが中国の特徴と言えるかもしれません。

日本の健康食品には、よいものとあまりよくないものがあります。よくないとは、研究開発の能力の問題に属します。

例えば、人体に必要なかつ貴重な栄養成分が含まれた健康食品を作り、第三者検査機構に依頼し、その成分は確かであることが証明されたにせよ、そのような栄養成分が人体に吸収されるかは、実は別問題です。

つまり、人体に吸収されなければ、いくら栄養成分が含まれても、意味を持ちません。

いままでの健康食品は、栄養成分を訴え、有効性を期待していたが、これからの健康食品は、人体に吸収されるかどうか、そして体によい影響を及ぼすかどうか分かるように、質的なレベル向上が期待されます。

## 国連ロータリーデー ビジネスと 社会貢献の接点をさぐる

マンハッタンのミッドタウンにある国連本部。そのビルの外には、片手に剣、もう片手に槌をもった力強い男性の彫刻がそびえ立っています。これは「持ちうる強みと手段を使ってより平和で公平な世界を築く」という、ロータリーと国連の共通目標を象徴しています。

11月12日(土)、国連とロータリーが毎年開催している「ロータリーデー」が、ここ国連本部で開かれました。今年のテーマは「責任あるビジネス、回復力ある社会」。このテーマは、職業の手段をより良い地域づくりに生かしているビジネスリーダーの世界的ネットワーク、ロータリーの役割を映し出しています。イベントでは、このテーマをめぐる分科会と講演が行われました。

冒頭の挨拶で、国際ロータリーのジョン・F. ジャーム会長は、前述の彫刻に触れ、「戦いをやめて平和な世界をつくろうではありませんか」と呼びかけました。テーマである「責任あるビジネス」は、営利組織が社会的・経済的発展に貢献できるという哲学を表しています。「これこそ、国連と国際ロータリーが緊密に連携できる分野。地域社会が必要な手段を備え、この手段を広く活用できるよう、地域社会のエンパワメントを支援できます」と会長は述べました。

オスロを拠点とする Business for Peace Foundation (平和のためのビジネス財団)の創設者で、同財団の理事長を務めるパー・サクセガードさんが、ビジネスと社会の複雑な関係について講演し、この関係がもたらす緊張と機会について語りました。「企業の動機は営利だけ」という考え方がある一方で、商業的な成功と社会的進歩は緊密に絡み合っていると、サクセガードさんは述べます。

「市場を決めるのは、社会のニーズ。(中略)私は仕事で多くの起業家に会いましたが、全員に共通点がありました。彼らは問題を見ると、「この問題は解決できる。しかも、もっと安価かつ効果的な方法で」、と考えます。これこそが、ビジネスにおけるイノベーションの原動力です。現在の問題、例えば、飢餓や非識字といった問題の解決に必要なのは、この原動力なのです」。2030年までに貧困をなくすという国連の「持続可能な開発目標」にも触れ、この目標の達成におけるビジネスの役割を強調しました。

このほかに、国連事務次長で軍縮担当上級代表であるキム・ウォンスさんと、ユニセフのポリオ担当責任者であるレザ・フサーニさんが講演しました。

イベントでは、責任あるビジネスの表彰も行われ、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長がビジネスリーダー6人と企業パートナー2社を紹介しました。いずれも、雇用、メンタリング、教育、イノベーションといった分野で地域社会に貢献する包容的ビジネスを推進しています。

12-Nov-2016 記事: Sallyann Price  
(<https://www.rotary.org> より)